

令和2年 網走市議会
文教民生委員会 会議録
令和2年6月8日(月曜日)

○日時 令和2年6月8日 午前11時15分開会

○場所 議場

○議件

1. 議案第1号 令和2年度一般会計補正予算中、
所管分

○出席委員(7名)

委員 長	永 本 浩 子
副 委 員 長	近 藤 憲 治
委 員	金 兵 智 則
	工 藤 英 治
	平 賀 貴 幸
	古 田 純 也
	村 椿 敏 章

○欠席委員(0名)

○委員外議員(1名)

議 長	井 戸 達 也
-----	---------

○傍聴議員(4名)

石 垣 直 樹
栗 田 政 男
澤 谷 淳 子
松 浦 敏 司

○説明者

副 市 長	川 田 昌 弘
-------	---------

教 育 長	三 島 正 昭
学校教育部長	林 幸 一
学校教育部次長	小路谷 勝 巳
学校教育課長	小 松 広 典

○事務局職員

事 務 局 長	武 田 浩 一
次 長	伊 倉 直 樹
総務議事係長	神 谷 浩 一
総務議事係主査	寺 尾 昌 樹

開会いたします。

本日の委員会ですが、付託されました議案1件を
審査いたします。

それでは、議案第1号令和2年度一般会計補正予
算中、当委員会所管分のスクールバス密集対策事業
について説明を求めます。

○小松広典学校教育課長 議案資料の6ページを御
覧いただきたいと存じます。

令和2年度一般会計補正予算のうち、教育委員会
費、スクールバス密集対策事業について御説明申し
上げます。

スクールバスの運行に関し、国の新型コロナウイルス
感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、密集
を避ける感染予防対策として、登校便を増便するた
め、所要の経費を追加補正しようとするものでござ
います。

事業の内容につきましては、5月22日付で文科省
より示された「学校の新しい生活様式」で可能な範
囲で運行方法の工夫により、過密乗車を避けること
とされているところでございます。

現在、スクールバスの運行に関しては、路線によ
って定員に対する乗車率が70%以上の路線が多い状
況にあり、密集を避ける感染予防対策として登校便
について現在運行している8路線のうち、乗車率
50%を超えている7路線に対し4台増便し、全便の
乗車率を50%台まで下げるよう、密集対策をしよう
とするものでございます。

増便の内訳は、能取線は単独で1台増便し、稲
富・山里・昭和線と中園・東網走線に1台、音根
内・丸万線と清浦線に1台、二見ヶ岡・嘉多山線と
嘉多山・越歳線に1台増便する内容でございませ
ん。

浦士別線は乗車率49.2%であるため、変更はあ
りません。

また、下校便については各路線とも3便運行して
おり、分散されているため変更することなく進めて
いく予定でございませぬ。

増便の運行期間につきましては、12月の冬休みに
入るまで実施しようとするもので、補正の内容につ
いては1,980万円を増額しようとするものでござ
います。

説明は以上でございませぬ。

午前11時15分開会

○永本浩子委員長 ただいまから文教民生委員会を

○永本浩子委員長 それでは質疑に入ります。

質疑ございませんか。

○平賀貴幸委員 はい、何点か伺わせていただきます。

まず、この事業は、いつから実施になるのでしょうか。子供たちが実際に、増便となったバスに乗れる日はいつになるのでしょうか。

○小松広典学校教育課長 この事業につきましては、1日でも早く感染予防策をとるということで、関係者との調整を先週から始めまして、本日から増便できることとなったため、本日の登校便より運行しております。

○平賀貴幸委員 はい、本日からということで、6月8日からということになるのだというふうに理解させていただきました。

12月の冬休み前までということなのですが、どんな場合だとこれが冬休み後も延長になるというふうに、市としては考えていらっしゃるのでしょうか。

○小松広典学校教育課長 現在の状況が引き続きということであれば、対応という形で必要かとは思いますが、そこについては、またその時点で適宜判断していきたいというふうに考えております。

○平賀貴幸委員 何らかの考え方の基準はまだ時間がありますので、しっかりとその間に議論をして、ここは詰めたほうがいいのだろうというふうに思いますので、申し上げます。

ところで、5月22日付で文科省より通知があったということで、先ほどの説明にもありました。

私もその内容は把握しておりますけれども、この事業が起案されたのはいつになるのですか。

○林幸一学校教育部長 スクールバスの増便の対応に関するお話なのですが、5月26日付で道教委より6月からの学校再開に向けた準備を行うようにとの通知がございました。

これを受けて、6月1日から学校再開しているところですが、この間、学校の再開に当たりまして、スクールバスでの過密状態の緩和を図りたいということで考えまして、先週からですね、路線の調整などについてバス会社、それからPTA役員、保護者との調整を先週末までに諮りまして、本日から増便対応をしたということでございます。

○平賀貴幸委員 本来でしたら、5月22日付の文科省の文書があった時点ですでに、起案の作業に入っ

て6月1日ないし2日ですかね、子供たちがスクールバスを使う時点から、事業が実施できることが望ましかったんじゃないのかと思うのですが、その辺の考え方はどうですか。

○林幸一学校教育部長 確かにそういった内容でございましたので、6月1日からの再開にあわせてというところが望ましいのですが、先ほどもちょっとお話しさせていただきましたが、路線の調整、それからバス会社との調整、PTA役員、それから保護者等への説明等でちょっと時間を要するといったところがございましたので、本日から運行となったところでございます。

○平賀貴幸委員 本日の運行になったのが、そういう状況だというのは理解できるのですが、私が申し上げたのは、本来であれば22日付でそういう通知があったのですから、もっと早目にその作業を行って6月1日ないし2日から、実際に子供たちが乗り始める時点で実施されるべきだったんじゃないのですかということなのですか。

○三島正昭教育長 5月22日に文科省から、学校における新しい生活スタイルのマニュアルが出ておりましたが、北海道教育委員会から学校再開がいつなのかということが正式に出たのが26日でございます。

6月1日から再開するに当たりまして、分散登校なのか、完全実施なのかということが明確にされたのが5月26日でございますので、それからですね、スクールバスのどういった方法がとれるのかといったところを検討したところでございます。

ですから、6月1日からの増便については、時間的に間に合わなかったというところでございます。

○平賀貴幸委員 スキームのスピード化については理解をさせていただくのですが、万が一ですね、新型コロナウイルスが網走で発生していたような状況があったとすれば、果たしてそのスキームで本当によかったのかなということは、もう一度教育委員会できちんと検証してください。

本来であれば、子供たちが三密の状態になるのを防ぐことを第一に考えて、スピード感を持って検討作業を早くに行っておくべきであった事項の一つだと私は思います。

ここは指摘をせざるを得ないのだというふうに思います。

事業としては、やっていただけなのでいいのです

けれども、万が一の事態が発生した際の検討のスキームが少しでも遅くならないようにするためにどうすればいいのか、ここはぜひ教育委員会の中でも協議検討していただきたいと思いますが、何か見解があればいただきます。

○小松広典学校教育課長 教育委員会としましては、いろんな状況を判断、総合的に判断をしながら、適切に早急に対応してまいりたいというふうに考えております。

○平賀貴幸委員 終わります。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ございませんか。

○金兵智則委員 あらかた事業の内容は、理解をさせていただきたいと思いますが、ちょっとお伺いしたいのですけれども、8路線中7路線で乗車率が50%になっていたということで、そこに対して増便しますよということなのですからけれども、70%以上のところがほかの7路線は多かったからということなのですからけれども、これ単純にこの増便4台にしたことによって乗車率というのは、どれぐらいになるものなのでしょうか。

○小松広典学校教育課長 乗車率につきましては、26.5%から59.3%の間となります。

○金兵智則委員 はい、ということは乗車率50%以上で、すごく高いところがあって、そこに増便をしても50%を特に割るわけではなくて、一番高いので59.3%でしたかね、これぐらいで乗車率6割以下に抑えるための、これ事業だったということでのいいのですか。

○小松広典学校教育課長 はい、全便の乗車率を50%台まで下げるよう、密集対策をしようという事業でございます。

○金兵智則委員 50%台まで落とすための事業だったということで、それで確実にクリアされるよということだということで理解をさせていただきたいというふうに思います。

もう1点なのですけれども、本日から冬休み前まで事業を行うことに決まりましたということで、1,980万円の予算計上がされているところなのですが、これスクールバスですので休み期間は多分走っていないのだというふうに思います。

夏休み期間は走っていないのかなというふうに思いますけれども、例えば夏休みが通常どおり1カ月ぐらい、1カ月ではないですけれども、1カ月くらいあれば1カ月分ないための、走らせないところの予算計上だと思うのですけれども、例えばこの夏休

みが短くなったりすると予算が足りなくなるみたいなことは、あつたりするのでしょうか。

○小松広典学校教育課長 夏休みの短縮については、今現在いろんな形で授業時数の関係ですとかを検証しまして、どのような形にするのかというようなことは、今進めている最中でございますけれども、その短縮部分については一応費用としては見込んでおります。

○金兵智則委員 短縮するかどうか、授業日数もろもろを含めて今検討中だけれども、もし短縮したとしてもこの予算内で収まる事業になっていますよということで、理解させていただきたいというふうに思います。

以上です。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは無いようですので、お諮りいたします。

議案第1号令和2年度網走市一般会計補正予算中、所管分のスクールバス密集対策事業については、全会一致により原案可決すべきものとして決定してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、そのように決定されました。

各委員、理事者より何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上で文教民生委員会を終了いたします。

お疲れさまでございます。

午前11時29分閉会